佐賀県保険医新聞

発行所
佐賀県保険医協会
佐賀市駅前中央1-9-45
(三井生命ビル4F)
電話 0952(29)1933
FAX 0952(23)5218
HP http://saga-doc.jp
✉hoken-i@star.saganet.ne.jp
購読料　1部　200円
送料込　年間2,400円
(会員の購読料は会費に含まれています)

医科 2016

新点数説明会

佐賀市798名、唐津市207名、延べ1005名が参加

3月24日（木）、3月26日（土）の両日、佐賀市文化会館と唐津市民会館にて医科新点数説明会を開催いたしました。当協会役員と事務局が講師を務め、佐賀・唐津会場合わせて延べ１００５名の参加がありました。

以下、参加者からの報告です。

佐賀会場の様子

平成28年3月24日、佐賀市文化会館で２０１６年度診療報酬改定の点数説明会が行われた。

今回の改定においては、本体は０・４９％引き上げられたが、薬価・材料の引き下げを含めると、全体で１・３１％のマイナスとなる。

今回の改定に対する個人的な印象は「現場を無視した安上がり医療のみを目指した机上の空論改定」といったところだ。

国家財政が危機的な状況と言われ久しい昨今、今こそ歴史上成功を収めた財政再建策を見習う必要があると思う。歴史が証明する財政再建策の核は、節約を旨とする緊縮財政である。これは、医療財政も例外ではない。財政が逼迫しているのであれば、皆応分の診療報酬減額をすればいい。財政悪化状況を打破するべく皆平等に身を削って頑張ろうと号令をかけてもらえば、日本の将来のために協力しようという気持ちにもなるところだ。

ところが今回の改定も然り、以前からの国の常套手段である梯子を外すような詐欺まがいの点数設定は到底承服する事はできないし、憤りさえ覚える。

またプラス部分の加算については、その加算要件の複雑怪奇さ、また請求事務の煩雑さゆえ、時間や気力が削がれ、本来の医療業務がおろそかになりかねない。また、処方控えに対し加算をするような方法は、ただただ安上がり医療を目指す本来の医療の姿とは程遠い方向に誘導をする暴挙としか言いようがない。まるで、レミングが繁殖しすぎ、居住地を変える集団移動の間に川に溺れ大量死を起こす状況を想定させる。

皆が納得する医療改正とは何かという根本的な議論がなされないまま、小手先の騙し改悪が続く現状を鑑みると、医療に限らず本当にこの国の将来は大丈夫なのかと危惧せずにはいられない。

（迷医）

新点数第2次説明会

◆歯科　**4月27日(水)**
19：30～
アバンセ４Ｆ　第１研修室

◆医科　**4月28日(木)**
19：30～
アバンセホール

保険医協会にご入会を

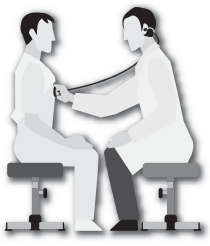
保険医協会は、わたくしたち保険医の生活と権利を守り、また国民医療・社会保障の充実と向上を図ることを主目的として活動しております。現在、当協会の会員数は９８４名（医師６４４名、歯科医師３４０名、２０１６年２月末時点）であり、医科と歯科が連携して活動している点が大きな特徴であります。

今回の診療報酬改定では、後発品・入院食等６項目での引き下げ等を含めると、実質改定率は前回より大幅にマイナス改定という結果となりました。消費税増税と並行的に「地域包括ケア」体制構築にむけた自己負担を求める医療・介護政策など、患者・国民のみならずわれわれ保険医にとっても大変に厳しい状況が続いています。

そのような中で当協会は、医療改善活動はもちろんのこと、個別指導や診療報酬請求の相談受付、書籍発行、臨床研究会、充実した共済制度、安価な放射線漏洩測定業者の斡旋など、会員をサポートするさまざまな活動を行っております。また、患者・国民向けの活動としても、窓口負担の引き下げや医療費助成制度の拡充などの要請も行っています。

協会は今後もこれまで以上に医療改善運動等に旺盛に取り組んでいきます。ぜひこの機会に保険医協会への入会をご検討いただきますよう、お願いいたします。

（会長　藤戸　好典）



◆入会手続きは…

保険医であれば入会できます。
入会金　3,000円
会費（月額）　開業医　5,000円
　　勤務医　3,000円

今号は未入会の方にもお送りしています。
この機会にぜひご入会についてご検討をお願いします。
※お問い合わせは協会事務局まで
（TEL0952-29-1933）

保険医協会とは…

- 診療報酬の改善運動
- 研究会活動
- 保険請求の相談受付
- 審査・指導改善などの要求運動
- 早くて正確な広報活動
- 会員のための共済制度
  - 保険医休業保障共済保険
  - 保険医年金
  - グループ生命保険

※5面をご覧ください。

協会会員数

医科　644人
歯科　340人
合計　984人
（2月29日現在）

主な記事

・歯科新点数説明会……2面
・第168回　九州ブロック会議……2面
・医科歯科合同研究会「医療事故調査制度の留意点」……3面
・共済部だより「休業保障・保険医年金申込受付スタート!!」……5面
・経営税務「医療法人承継の注意点」……6面

曙

吉野ヶ里遺跡が重要な遺跡として七田忠志先生により考古学会誌に報告されたのは昭和9年であった由。日本は、その後、悲劇的な戦争の時代に流され遺跡の発掘調査どころではなく、七田先生は高校の教師として一生を吉野ヶ里をはじめ佐賀県中の遺跡を守るために尽くされた。亡くなられた翌年の昭和57年、この美しい歴史文化の地が工業団地で議決▼その時、一番早く保存活動を始めたのは公立中学の教師　江永次男氏。圧抑にめげず、身を削って運動された。呼応されたのが奈良国立文化財研究所の佐原真氏で、平成元年2月23日の全国報道につながり吉野ヶ里ブームが始まった▼この3人の素晴らしいエネルギーの元は何なのか？平和への強い希求のように思えてならない。三方とも戦争を青少年期に経験されている。古代よりの外国との交流の歴史は必ず将来の国際親善に貢献すると保存に力を尽くされたと思えてならない▼吉野ヶ里遺跡を中心に遺跡群を網羅して世界遺産にと文化財保存全国協議会総会が6月に佐賀市で開催されるので楽しみである。シルクロードの西の終点が古代ローマなら、東の終点は吉野ヶ里遺跡である。人類の宝と言えよう。佐原真氏の「吉野ヶ里は平和を訴える遺跡」のご講演も想い出しつつ立派な保存を願う。

（佐賀市　太田　記代子）